

平成 29 年度 小動物臨床部会第 1 回講習会の開催

小動物部会の今年度第一回目の講習会が平成 29 年 7 月 30 日（日）に新潟東映ホテルで開催された。講師には日本獣医生命科学大学准教授の長谷川大輔先生をお招きし、「てんかんのアップデート」というテーマで約 4 時間の講習が行われた。講習会は、副部会長の鈴木正芳先生が進行し、部会長、県獣会長の宮川先生がそれぞれ挨拶を行い始まった。講師の長谷川先生は、国際獣医てんかんタスクフォースのメンバーでもあり国内外で活躍されている。その人気の高さもあり会場には 60 名近い獣医師が集まり熱心に耳を傾けていた。

講習会内容は、てんかんの定義に始まり、分類、用語、診断基準、高度な検査、そして治療へと流れに沿った講義内容であった。近年、高度な画像診断技術が小動物臨床の分野でも応用される機会が増えて、脳や脊髄神経の病気に多くの新しい病名が報告されるようになってきた。そんな中で今回の講習会は使用される用語の整理なども含めて有意義であったと思われる。講習会後の質問も多く、参加獣医師の関心度の高さがうかがわれ、明日からの臨床現場に役立つ内容であったと思われる。最後に松谷正巳副部会長の閉会の挨拶で講習会は成功裏に終了した。



講演される長谷川大輔 先生



受講の様子